

## 第 9 期総合政策特別委員会における今後の議論の進め方について（案）

平成 29 年 1 月 26 日

### 1. 前期までの検討

- (1) 総合政策特別委員会（第 7 期）においては、第 5 期科学技術基本計画（平成 28 年 1 月閣議決定）の策定に先立ち、「我が国の中長期を展望した科学技術イノベーション政策について～ポスト第 4 期科学技術基本計画に向けて～（中間取りまとめ）」（平成 27 年 1 月 20 日）をとりまとめ、我が国の科学技術イノベーション政策全般にわたって、幅広い観点から今後のあるべき方向性を示した。
- (2) 現行基本計画の策定後は、科学技術・学術審議会総会の方針を踏まえ、本委員会が各分科会等における調査審議等を補完し、文部科学省として現行基本計画を推進していくための機動的な調査検討を行っていくこととされた【資料 2-4、2-5】。この方針の下、第 8 期委員会（平成 27 年 2 月～平成 29 年 1 月）においては、文部科学省における基本計画の進捗状況の把握・分析を行うため、基本計画を見える化した「俯瞰マップ」を作成するとともに、現行基本計画を推進する上で特に重点的に調査検討すべき横断的な事項について検討を行い、「総合政策特別委員会における第 5 期科学技術基本計画の実施状況のフォローアップ等に関する審議のとりまとめ」（平成 29 年 1 月 25 日）を行った【資料 2-6】。

### 2. 今期における検討事項

上記を踏まえて、第 9 期委員会においては、第 8 期委員会の検討を継続するとともに、平成 30 年度が現行基本計画の中間年にあたることから、全体俯瞰の観点から現行基本計画の後半に向けた政策及び施策の方向性について検討するとともに、次期（第 6 期）科学技術基本計画に向けて検討すべき論点等について整理してはどうか。

- ① 現行（第 5 期）科学技術基本計画の進捗状況の把握・分析
  - 各分科会等が行う現行基本計画の進捗状況の把握・分析のための、共通する基本方針を検討する。
  - 各分科会等が行う進捗状況の把握・分析の結果を踏まえて、文部科学省全体を俯瞰した観点から進捗状況の把握・分析を行う。
  - なお、進捗状況の把握・分析を通じて、必要に応じ各分科会等と連携して俯瞰マップの改善を行う。
- ② 重点的調査事項の検討

現行基本計画を推進する上で特に重点的に調査検討すべき事項（例えば、各分科会等に横串的に関連する事項、各分科会等において取り上げられていない事項など）について、全体俯瞰の観点から現行基本計画の後半期間に向けた政策及び施策の方向性を検討する。
- ③ 次期（第 6 期）科学技術基本計画に向けて検討すべき論点等の整理
  - ①、②や国内外の科学技術動向等を踏まえ、次期科学技術基本計画に向けて検討すべき論点等について整理する。

### 3. 検討の進め方

上記①～③の検討について、以下のように進めることとしてはどうか。

#### ① 現行科学技術基本計画の進捗状況の把握・分析

(進捗状況の把握と分析)

- 各分科会等が行う現行基本計画の進捗状況の把握・分析に関して、共通する基本方針について、次回委員会において検討し、とりまとめる。
- 当該基本方針を総会に報告し、議論していただいた上で、総会から各分科会等に対して提示する。
- 各分科会等においては、基本方針を踏まえ分野毎の進捗状況の把握・分析を行う。
- 各分科会等からの報告を踏まえて、本委員会において文部科学省全体を俯瞰した点から進捗状況の把握・分析を行う（総会へ報告）。

(俯瞰マップの改善)

現行基本計画の進捗状況の把握・分析を通じて、必要に応じ各分科会等と連携して俯瞰マップの改善に向けた検討を行う。なお、俯瞰マップ毎に設定されている指標に関して、第8期委員会において指摘された横串的課題（イノベティブ、ハイリスクハイインパクトな研究開発など一般的なマクロ指標で測定することが必ずしも適切でないものをどう測るか等）については、引き続き検討する。

#### ② 重点的調査事項の検討

現行基本計画を推進する上で、特に重点的に調査検討すべき事項（例えば、各分科会等に横串的に関連する事項、各分科会等において取り上げられていない事項など）について、①の検討過程や本委員会における議論を通じて抽出し、全体俯瞰の観点から、現行基本計画の後半期間に向けた政策及び施策の方向性について検討し、平成30年夏頃を目途に中間とりまとめを行う（総会へ報告）。

#### ③ 次期科学技術基本計画に向けて検討すべき論点等の整理

- ①、②や国内外の科学技術動向等を踏まえ、次期科学技術基本計画に向けて検討すべき論点等について全体俯瞰の観点から整理を行い、平成31年1月に最終とりまとめを行う（総会へ報告）。
- なお、最終とりまとめを踏まえた論点ごとの議論は、次期（第10期）委員会に引き継ぐ。

### 3. 検討スケジュールのイメージ

平成 30 年 1 月頃 :

- ・ 現行基本計画の進捗状況の把握・分析のための共通する基本方針の検討

平成 30 年 2 月頃 :

総会において基本方針の確認。総会から各分科会等へ提示

平成 30 年 2 月～6 月 :

各分科会等において基本方針を基に進捗状況の把握・分析

平成 30 年 6 月～8 月頃 : (2 回～3 回程度開催)

- ・ 各分科会等からの報告を踏まえて、進捗状況の把握・分析
- ・ 重点的調査検討事項の抽出・検討 (早急な取組が必要なものとりまとめ)

<平成 30 年夏頃中間とりまとめ>

平成 30 年 9 月～平成 31 年 1 月頃 : (2 回～3 回程度開催)

- ・ 次期科学技術基本計画に向けて議論すべき論点等の整理

<平成 31 年 1 月最終とりまとめ>

- (
- ・ 平成 31 年 3 月～9 月頃 : (第 10 期委員会)  
次期基本計画に向けて整理された論点等について具体的な検討を進め、9 月頃を目途に中間とりまとめを行うことを目指す。
- )

(参考)

#### 第 5 期科学技術基本計画策定時の経過

##### **【文部科学省】**

平成 26 年 7 月 : 総合政策特別委員会において検討開始 (以下、平成 27 年 1 月までに 9 回開催)

平成 27 年 1 月 : 総合政策特別委員会中間とりまとめ

(平成 27 年 9 月 : 総合政策特別委員会最終とりまとめ)

##### **【内閣府】**

平成 26 年 12 月 : 総合科学技術イノベーション会議基本計画専門調査会において検討開始 (以下、平成 27 年 12 月までに 15 回開催)

平成 27 年 12 月 : 総合科学技術イノベーション会議基本専門調査会最終とりまとめ

平成 27 年 12 月 : 総合科学技術会議答申

平成 28 年 1 月 : 閣議決定